情　報　公　開　文　書

研究の名称	富山県国保ヘルスアップ支援事業及び富山県後期高齢者医療広域連合と連携した健診ビッグデータ分析
整理番号	R
研究機関の名称	国立大学法人　富山大学
研究責任者	関根　道和
研究の概要	【研究対象者】 富山県厚生部厚生企画課及び富山県後期高齢者医療広域連合が管理している国民健康保険及び後期高齢者医療保険の保険者の全健診受診者。 【研究の目的・意義】 富山県で管理されている健康関連ビッグデータ（特定健診データ）を活用し、①：メタボや生活習慣病の市町村別評価、　②：①の中学校区別の評価、③、①②健診の受診回数と生活習慣病、フレイルとの関連、④、①～②について中学校区別の結果を地理情報システム（GIS）を用いて健康ハザードマップを作成し、地域格差の現状を評価、 以上の①～④についての分析を行います。 【研究の方法】 後ろ向き観察研究 個人が特定できない匿名化データに変換された後に、富山大学がデータを取得し、分析を行います。 【研究期間】 承認日～2025 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 研究結果の公表は申請者の所属する講座（疫学健康政策学講座と地域連携推進機構地域医療保健支援部門）より学会での発表、論文、広報誌を積極的に活用し、国民に対してわかりやすく説明します。また、可能な限り国際学会誌への投稿などを通して成果を国内外に公表するよう努めます。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	健診で調査される生活習慣と健診データを用います。他機関への提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学学術研究部医学系疫学健康政策学講座 研究責任者：教授　関根道和
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学学術研究部医学系　疫学健康政策学講座 研究責任者：教授　関根道和
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話　076-434-7270 担当者所属・氏名　疫学健康政策学講座　助教　山田正明